


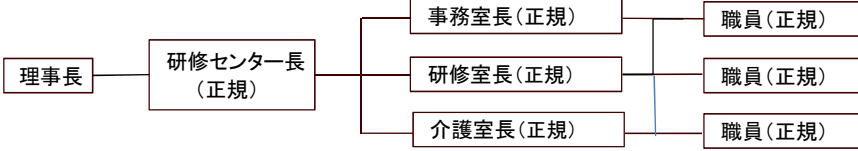
令和4年度指定管理者運営状況検証シート

1 施設名等

令和5年3月31日現在

施設名 (設置年月日)	愛媛県在宅介護研修センター (平成16年4月1日)	所在地 〒790-0914 愛媛県松山市末町甲9番地1	電話 089-914-0721	ホームページ http://home.e-catv.ne.jp/e-zaitakukaigo
県所管課	保健福祉部生きがい推進局長寿介護課	指定管理者の名称	特定非営利活動法人 愛と心えひめ	
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日	利用料金制	あり	○ なし

2 施設の概要と指定管理者が行う業務等

設置目的	介護を必要とする高齢者を支えるため、その家族、ボランティアなど一般県民に対して、在宅介護に関する研修を行うとともに、介護に関する相談、情報の提供等を行う。	施設の外観 
施設内容	第1研修室、第2研修室、宿泊室、浴室等	
指定管理者が行う業務	①在宅介護の研修、②介護に関する相談、③介護に関する情報の提供、④介護にかかわる関係団体等との連絡調整、⑤センターの施設、附属設備等の維持管理、⑥上記業務に付随する業務	
施設の管理体制		

3 検証のための指標の推移

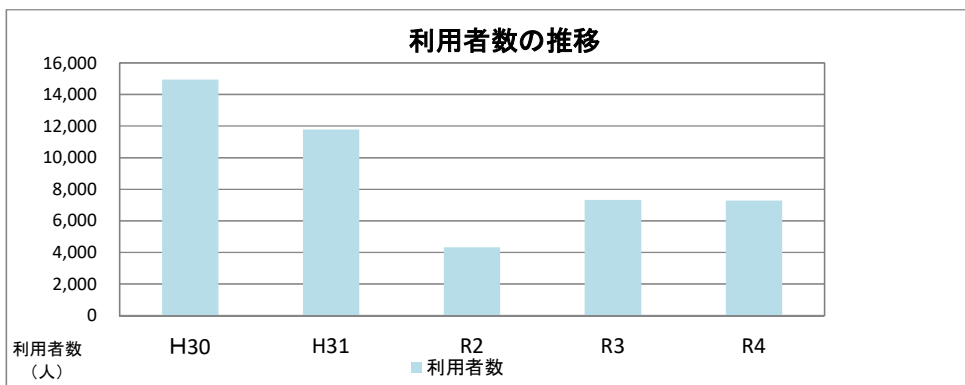
(1) 利用者数

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年間利用者数	14,948 人	11,780 人	4,319 人	7,321 人	7,287 人

(2) 収支状況

年 度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
取 入 (A)	44,449 千円	45,965 千円	45,511 千円	45,511 千円	45,764 千円
委託料	44,449 千円	45,965 千円	45,511 千円	45,511 千円	45,764 千円
委託料(補正額)※	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円
利用料金収入	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円
その他収入	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
支 出 (B)	44,449 千円	45,965 千円	45,511 千円	45,511 千円	45,764 千円
事業費	9,109 千円	8,329 千円	6,017 千円	7,145 千円	7,347 千円
維持管理費	4,809 千円	5,710 千円	7,856 千円	6,348 千円	8,622 千円
人件費	24,226 千円	24,487 千円	24,472 千円	25,159 千円	22,925 千円
その他支出	6,305 千円	7,439 千円	7,166 千円	6,859 千円	6,870 千円
取 入 (A) - 支 出 (B)	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円

(※) 新型コロナウイルスの影響等により、補正予算で増額した委託料を記載



(※2) 収支状況に大きく影響を及ぼした要因があった場合、その内容

4 管理運営の評価

(1) 提供サービスや利便性の向上のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評	価
<p>主催研修・会場開催は、可能な限りハイブリッド形式(会場受講とオンライン受講)で行った(全84講座のうち56講座、主催研修受講者1,054名中43%の453名がオンライン受講)。これからの研修のあり方として、会場受講は無理でもオンライン受講や動画配信受講などの需要は高まると考えられるので、更なる研修内容の充実を図りたいと思う。</p> <p>コロナ禍で減っていた当センターの来所者の復活を計り体験型介護研修を企画。プログラムの一つとして、認知症の方の視界を体験するVR機器の導入と、見守りロボットとのふれあいと機能の説明を行った。それらを含めた見学研修受講者が300名ほどあった。団体の見学には、貸切バス費用の助成制度を導入し、老人会等の見学があった。また夏休みを利用した「小学生と保護者のバスツアー」も行い、東予5組・中予10組・南予8組の親子参加があった。このように、介護のすそ野を広げていく上にも、早くから介護を身近に感じられる取組みを続けていきたい。</p>	<p>オンライン受講や動画配信受講を新たな研修スタイルとして定着させ、受講者の需要に応えている。</p> <p>また、体験型介護研修として、センターに来所してこそ学べるプログラムを展開したことで、来所者数の増加、介護への理解のすそ野拡大につながった。</p> <p>今後もオンライン形式と集合形式の両輪により、多様なニーズに対応した研修実施に努めていただきたい。</p>		A

(2) 施設の適正な維持管理のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評	価
<p>施設管理については、建築基準法に基づく定期点検のほか、適宜施設内外を見回るなど外観点検を行っている。</p> <p>現在のところ、必要の都度修繕修復を行うなどにより、直ちに施設利用に支障が生じるような箇所は見受けられず、概ね良好な状態である。ただし、施設の老朽化(昭和61年3月竣工)が進んでいることは確かな事であるため、これまで同様見回り確認を継続し、安全な施設管理・運用に務める。</p> <p>設備面においては、業者点検を含め随時修理点検を実施しているため、現在のところは概ね良好な状態にある。</p>	<p>施設・設備に関しては、適時・適切なメンテナンスがなされており、安定した維持管理が行われている。</p> <p>老朽化に伴う施設・設備等の修繕については、今後も優先度を見極め、計画的な予算執行に努めていただきたい。</p>		A

(3) 利用者からの評価と、意見を反映させるための取組み

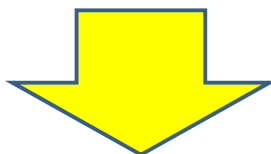
指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評	価
<p>研修センター受講者にはアンケート記入をお願いし、研修の感想及び研修センターへのご意見・ご要望を聞くようにしている。主催研修受講者からの感想は概ね良好であったが、この数年入れることが出来なかった実技講座の要望が多数寄せられている。令和5年度後半からは、感染症の状況を見ながら、徐々に実技講座の再開を図っていきたい。動画配信受講者のアンケートから、ホームページにリンクボタンを設けて視聴しやすくした。また、動画配信の受講申込方法の簡素化について要望が寄せられており、今後の検討課題と考えている。見学研修受講者からは、親を介護していた時、或いはその前に当センターのことを知っていたら、もう少し良い介護ができたのかも知れないとの感想が何通か寄せられ、改めて広報活動強化の必要性を感じている。</p> <p>以前は、アンケートで寄せられた要望に対しては、その事態を改善することが反映方法であったが、要望の中には質問もあり、それに対する回答をお伝えしたいものもあるため、ホームページ・研修事業項目に「ご意見・ご要望に対する回答コーナー」を設けて回答するようになっている。</p>	<p>受講者アンケート等により、利用者ニーズの把握に努め、意見・要望に対し迅速かつきめ細かな対応がなされている。</p> <p>アンケートでは好意的意見が多く寄せられ、利用者の満足度は高い。</p> <p>今後も一層のセンターの利用促進と利用者の満足度の向上に努めていただきたい。</p>		S

(4) 施設関連情報の発信のための取組み

指定管理者の自己検証	県施設所管課の検証	評	価
<p>広報活動としては、「働く家族の介護力強化事業」の一環として、新聞折込タブロイド紙「介護への備え」の見開きページに当センターの広報記事を掲載、各戸配布された。それ以外にも、南海放送・愛媛CATVの県広報番組他、「愛顔のえひめ」「愛顔ケアねっと」等に研修案内を掲載している。</p> <p>以前より偶数月の月初に、翌月と翌々月の主催研修一覧と各研修チラシを同封して、各市町役所・支所、社会福祉協議会、地域包括支援センター、介護関連事業所等397カ所に送付している。</p> <p>出前講座の折には当センターのパンフレットを配布し、2～3分ほど当センターの案内をさせて頂いているが、今後もその機会を大事にしていきたい。</p>	<p>広報活動について、各種媒体による積極的な取り組みがなされている。</p> <p>今後も、県民が介護に直面した時或いはそれ以前に介護を学ぶことができるよう、また、地域全体で介護への理解を深め、助け合い支え合えるよう、一層の情報発信に努めていただきたい。</p>		A

【評価基準】

- A・・・仕様書等で示した基準以上の顕著な成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が特に認められるもの
- S・・・仕様書等で示した基準以上の成果が挙げられており、指定管理者制度導入の効果が認められるもの
- B・・・仕様書等で示した基準と同程度の成果が挙げられているもの
- C・・・仕様書等で示した基準をおおむね満たしているが、一部工夫や改善を期待するもの



(5) 指定管理者制度の導入による効果と課題の検証

県施設所管課の総括
<p>指定管理者制度の導入による効果としては、民間のノウハウを生かした多彩な研修を積極的に展開し、在宅介護研修センターの利用促進と、利用者の満足度の向上に努めており、高く評価できる。少子高齢化が一層進展するなか、増大する介護給付費を抑制しつつ、高齢者の尊厳を支えるケアを確立するためには、地域全体で介護への理解を深め、助け合い支え合う社会づくりを進める必要があり、広く一般県民を対象として介護の研修を行う在宅介護研修センターの存在意義はますます高くなっている。今後も引き続き実践的研修を展開し、本県の介護の質の向上と地域の介護力強化に努めていただきたい。</p>